

2025年9月17日

1 型糖尿病でインスリンによる治療を受けている、 2023 年 8 月時点で 0 歳から 17 歳 11 か月の患者さん・保護者の方へ

産業医科大学病院小児科では多機関と協力して「小児期発症 1 型糖尿病の治療・予後改善のための多施設共同研究(第 6 コホート)」を行っております。

この研究は、1 型糖尿病の子どもたちが、合併症のない自立した社会人に成長していけるよい治療法を見つけていくことを目的としています。日本では小児期に発症する 1 型糖尿病の患者数は、欧米にくらべ非常に少ないです。従って、個々の医師がいろいろな治療を行っても、どのような治療が最もよいのか、必ずしもわかりません。そこで糖尿病治療に熱心な全国の小児科医が集まって、小児インスリン治療研究会という研究会をつくりました。この研究会では、医師たちが日常診ている子ども達の治療法・血糖コントロール状態・合併症などについてデータをまとめて研究し、最もよい治療法や合併症を予防するよい方法を見つけようと努力しています。

1．研究課題名 小児期発症 1 型糖尿病の治療・予後改善のための多施設共同研究
(第 6 コホート)

2．研究期間 研究機関の長の許可日～2029 年 3 月 31 日

3．代表研究機関 産業医科大学病院

4．実施責任者 産業医科大学医学部 医学教育担当教員 教育教授 山本幸代

5．研究の目的と意義

【目的】この研究は産業医科大学医学部医学教育担当教員の山本幸代教育教授を研究代表者とする多施設共同研究であり、小児期発症 1 型糖尿病をもついろいろな子ども達の治療に関する様々の情報(データ)を集め、現在の治療の血糖コントロールへの効果や問題点が明らかにすることを目的としています。より血糖コントロールを良好に保てる治療法、より子ども達の生活の質が向上できる治療などについて客観的に比較を行っていきます。

【意義】このようにして 1 型糖尿病の子どもたちが、合併症のない自立した社会人に成長していけるよい治療法を見つけていくことを目的としています。

6. 研究の方法

この研究は全国の研究参加機関からは合計 1,200 名の患者さんに参加していただく予定です。1 型糖尿病の子ども为背景(年齢、性別、発症様式など)を登録し、4 か月を 1 期とし、1 期ごとに血糖コントロールの変化を調査内容に従いデータ(治療内容、身体の発育や変化、低血糖の頻度、合併症の状況等)を集計します。各共同研究機関では、登録症例の中から同意を取得した 4 症例について、年に 1 回、生化学用採血管(5mL)、フッ化 Na 入り採血管(2mL)にて血液を採取し(通常診療の採血に上乗せして 1 回あたり 2-4mL 多く採取)、株式会社エスアールエルへ送り、HbA1c およびグリコアルブミンの測定を行います。終了後、同意を得られた方には、糖尿病合併症の発症について、事務局から本研究時の担当医師に調査票が定期的に(毎年)送られ調査を継続します。患者さんが他の病院や他科(内科)へ変わっている場合には、担当医師から患者さんにアンケートの調査票を転送して調査を継続します。調査期間は 10 年間です。

7. 個人情報の取り扱い

この研究にご参加いただいた場合、提供された血液検体や診療情報などのこの研究に関するデータは、患者さん一人一人に研究特有の番号を割り当てることによって、個人が識別されることのできない状態にされます。各研究機関で収集した臨床データは、研究者もしくは共同研究者がエクセルファイルに入力します。集められた情報は、個人情報管理者により適切に管理されるため、あなたのお子さんの個人情報外部に漏れることは一切ありません。

8. 問い合わせ先

産業医科大学医学部 医学教育担当教員 山本幸代
住所：〒807-8555 福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1
電話：093-691-7255 (医学教育担当教員 資料室)

9. その他

この研究の内容は、下記のインスリン治療研究会のホームページに公開されています。

インスリン治療研究会 <http://www.jsigit.jp>

また、あなたが希望される場合、研究に参加された方々の個人情報や当該研究の成果に支障がない範囲で、この研究の計画書などの資料を閲覧することができます。閲覧を希望される場合は、担当医師にお問い合わせください。

一括審査対象の共同研究機関一覧

	施設名	職名	研究責任者
1	愛媛大学大学院医学系研究科小児科学	准教授	濱田淳平
2	群馬大学医学部附属病院	助教	大津義晃
3	帝京大学医学部附属溝口病院	病院客員教授	門脇弘子
4	静岡県立こども病院	糖尿病代謝内科科長	佐野伸一郎
5	大阪市立総合医療センター	小児代謝内分泌・腎臓内科部長	森潤
6	国立成育医療研究センター 内分泌代謝科	診療部長	堀川玲子
7	国立病院機構 三重病院	小児科医師	貝沼圭吾
8	東京女子医科大学 内科学講座 糖尿病・代謝内科学分野	准教授	三浦 順之助
9	山梨大学医学部附属病院	特任准教授	矢ヶ崎英晃
10	日本大学病院	小児科 准教授	鈴木潤一
11	今村総合病院	主任部長	溝田美智代
12	大阪母子医療センター 消化器・内分泌科	消化器・内分泌科 診療主任	前山隆智
13	日本医科大学武蔵小杉病院	教授 (教育担当)	田嶋華子
14	新潟大学医歯学総合病院小児科	特任講師	小川洋平
15	東京女子医科大学小児科	小児科教授・講座主任	永田 智
16	大分大学医学部附属病院 小児科	助教	糸永知代
17	大阪大学医学部附属病院	助教	大幡泰久
18	浜松医科大学	病院准教授・講師	藤澤泰子
19	まつもと医療センター小児科	小児科医長	倉田研児
20	京都府立医科大学附属北部医療センター	副医長	宮垣知史
21	京都府立医科大学	助教	杉本 哲
22	千葉大学医学部附属病院 小児科	講師	高谷具純
23	長崎大学病院	准教授	伊達木澄人
24	愛知医科大学	講師	岩山秀之
25	鳥取市立病院	診療局長	長石純一
26	新潟市民病院	科副部長	阿部裕樹
27	虎の門病院小児科	小児科部長	磯島豪
28	京都第二赤十字病院	医長	福原正太
29	徳島大学大学院医歯薬学研究部小児科学分野	教授	漆原真樹
30	宮崎大学医学部 基礎看護学	特別助教	明利聡瑠
31	高知大学医学部附属病院	学内講師	荒木まり子
32	横浜市立大学附属市民総合医療センター	講師	志賀健太郎
33	愛媛県立中央病院	小児医療センター長	山本英一
34	金沢大学附属病院	助教	岡島道子
35	東京女子医科大学附属八千代医療センター小児科	教授	高梨潤一
36	東京女子医科大学附属足立医療センター	教授	松岡尚史

37	九州大学病院小児科	助教	虫本雄一
38	旭川医科大学 小児科	講師	鈴木滋
39	東京都立小児総合医療センター	医長	天野直子
40	久留米大学病院小児科	助教	海野聡子
41	埼玉医科大学 小児科	教授	菊池透
42	聖マリアンナ医科大学 小児科	助教	大串健一郎
43	福岡大学病院 小児科	助教	児島加奈子
44	秋田大学医学部附属病院	講師	高橋郁子
45	順天堂大学医学部小児科学講座	准教授	田久保憲行
46	帝京大学ちば総合医療センター小児科	病院教授	南谷幹史
47	九州労災病院	医員	島本太郎
48	大阪公立大学大学院医学研究科発達小児科学	講師	柚山賀彦
49	信州大学医学部小児医学教室	助教 (特定雇用)	柴崎拓実
50	鳥取大学小児科	教授	難波範行
51	山梨大学社会医学講座	教授	横道洋司
52	山口大学	助教	福田 謙
53	呉医療センター	科長	世羅康彦
54	獨協医科大学病院小児科	准教授	小山 さとみ